

**令和2年度 知的財産活用研修[検索コース]
研修内容及びカリキュラム(案)**

月 日	時間		研 修 科 目	時間	講 師	研修内容	研修会場	
	開始	終了						
1/26 (火)	9:50	～ 10:00	オリエンテーション		(独)工業所有権情報・研修館 知財人材部事務局	事務連絡		
	10:00	～ 10:50	特許法及び 特許文献分類体系の概要	3	九州大学 学術研究・産学官連携本部	特許文献検索を行うにあたっての基礎となる特許法及び特許・実用新案審査基準についての解説及び特許文献を検索するFタームの体系についても解説する。		
	11:00	～ 11:50						
	13:00	～ 13:50						
	14:00	～ 14:50	先行技術文献検索理論	3	教授 水野 治彦	技術動向の把握のための特許文献検索や、特許審査基準を考慮して特許性の判断に必要な特許文献検索を行う手法について、特許庁の特許審査手法のノウハウを織り交ぜつつ解説する(注1)。		
	15:00	～ 15:50						
	16:00	～ 16:50						
1/27 (水)	10:00	～ 10:50	先行技術調査演習	6	葛和国際特許事務所 弁理士 木村 伸也	実際の特許出願を用いて、与えられた課題に対して研修生自らが、J-PlatPatを利用して特許性の判断に必要な特許調査を行う。講義を通じて習得した知識を、随時指導者に質問ができる環境下で実践する。		オンラインで実施
	11:00	～ 11:50						
	13:00	～ 13:50						
	14:00	～ 14:50						
	15:00	～ 15:50						
	16:00	～ 16:50						
1/28 (木)	10:00	～ 10:50	グループディスカッション (調査結果討論)	4	葛和国際特許事務所 弁理士 木村 伸也	少人数の班を編成し、研修生それぞれが作成した特許調査の結果をもとに、適切な検索式の作成方法や、発見された文献に基づく新規性・進歩性の判断について班別討論を行い、調査報告書を作成する(注2)。		
	11:00	～ 11:50						
	13:00	～ 13:50						
	14:00	～ 14:50						
	15:10	～ 16:00	模範解答解説 (講師からのフォローアップ)	2	中村 理弘	班別の討論結果を発表するとともに、講師による講評を行う。また、特許文献検索を行う手法や対策について、講師により特許庁の特許審査判断のノウハウを織り交ぜつつ解説する。		
	16:10	～ 17:00						
	17:00	～ 17:10	事務局からの連絡		(独)工業所有権情報・研修館 知財人材部事務局			

※カリキュラムの内容、時間配分につきましては、諸事情により変更になる場合がございます。

(注1) 知的財産活用研修[検索コース]では、パテントマップの作成方法自体については扱いません。

(注2) 研修生の特許文献検索経験年数の分布等を考慮し、班編成を行わせていただきます。